

豊能医療圏の医療需要予測

～「新病院あり方検討支援業務委託」調査分析結果より～

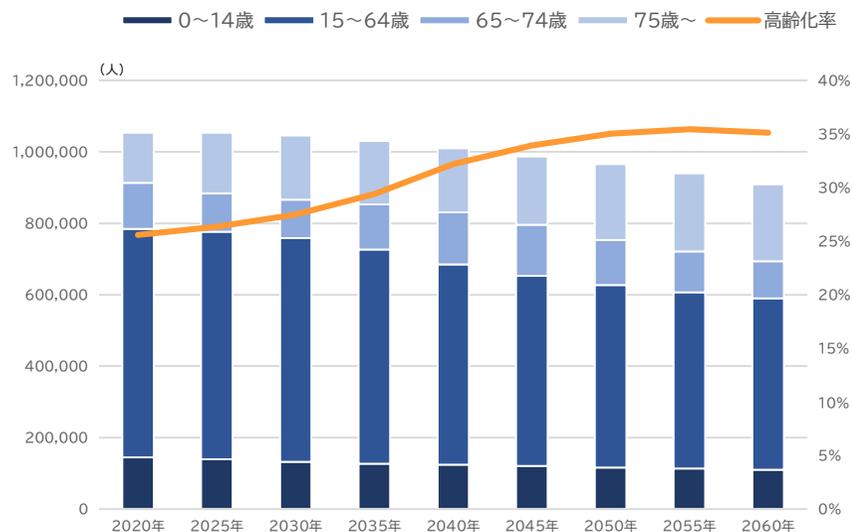
(両面印刷用余白)

豊能医療圏及び箕面市の人口推計

豊能医療圏では2025年に、箕面市では2030年に全体人口のピークを迎えると予測されます。一方、医療にかかる割合が高い高齢者（65歳以上）人口は、豊能医療圏・箕面市ともに2050年まで増加し続けることが予測されます。

豊能医療圏

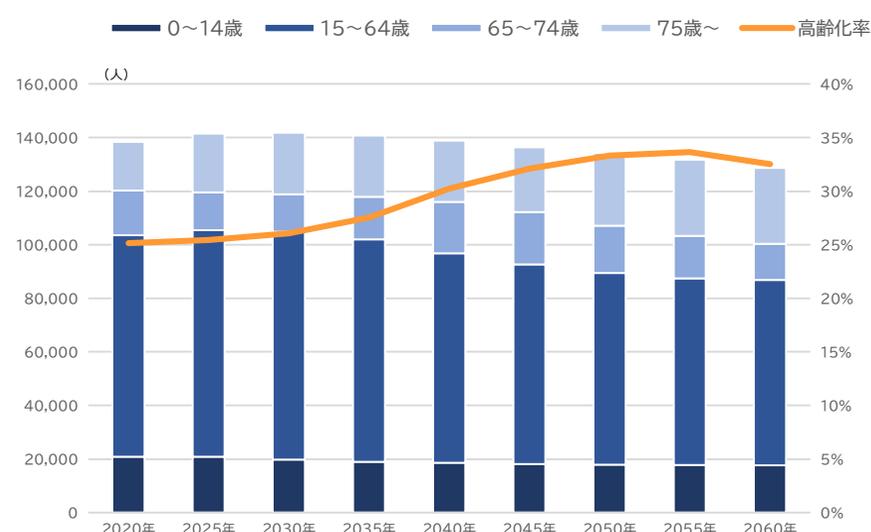
- ・総人口は2025年の約105.4万人をピークに、その後減少
- ・高齢者（65歳以上）人口は、2020年以降増加を続け、2050年にピークを迎えると予測



	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
0～14歳	144,334	139,705	132,528	127,195	124,479	120,919	117,021	113,624	110,422
15～64歳	639,618	636,443	625,596	600,037	560,278	531,592	510,306	493,187	479,302
65～74歳	128,669	107,456	107,866	125,874	145,978	143,816	125,735	113,852	104,095
75歳～	140,881	170,328	179,450	176,825	179,149	191,212	212,459	219,222	214,829
合計	1,053,502	1,053,931	1,045,439	1,029,931	1,009,884	987,539	965,521	939,886	908,648
高齢化率	25.6%	26.4%	27.5%	29.4%	32.2%	33.9%	35.0%	35.4%	35.1%
高齢者人口	269,550	277,784	287,316	302,699	325,127	335,028	338,194	333,075	318,924

箕面市

- ・総人口は2030年の約14.2万人をピークに、その後減少
- ・高齢者（65歳以上）人口は、2020年以降増加を続け、2050年にピークを迎えると予測



	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
0～14歳	20,885	20,956	19,838	18,991	18,658	18,244	17,912	17,784	17,651
15～64歳	82,688	84,501	85,022	82,935	78,218	74,397	71,582	69,668	69,198
65～74歳	16,776	14,158	13,872	15,893	19,084	19,546	17,642	15,911	13,418
75歳～	18,016	21,836	23,091	22,890	22,889	24,254	27,105	28,433	28,415
合計	138,365	141,452	141,823	140,709	138,848	136,441	134,242	131,796	128,682
高齢化率	25.1%	25.4%	26.1%	27.6%	30.2%	32.1%	33.3%	33.6%	32.5%
高齢者人口	34,792	35,995	36,963	38,783	41,972	43,800	44,747	44,344	41,833

※人口推計方法の概要…箕面市以外の人口は、2020年3月末時点（豊中市は2020年4月1日時点）の住民基本台帳人口をもとに、国立社会保障・人口問題研究所発表の推計基礎データ（性別・年齢階層ごとの移動率や子ども女性比等）を使用し推計。箕面市人口は、2020年3月末時点の住民基本台帳人口をもとに、箕面市人口ビジョン（2015年10月箕面市策定）の「人口推計Ⅱ」における推計基礎データ（性別・年齢階層ごとの移動率や子ども女性比等）を使用し推計。

豊能医療圏の患者推計の考え方

豊能医療圏の人口推計をもとに、豊能医療圏で発生する患者数を疾患区分ごとに推計します。推計は、国の調査による疾患区分・年齢・性別の患者受診データと、前頁の人口推計データを掛け合わせることで行います。

使用データと患者数推計の概要

入院、外来、それぞれの特性に応じて以下2つの疾患区分別・年齢別・性別の患者データを使用し、豊能医療圏で発生する患者数を推計します。

1. DPCデータ

- ・主に急性期病院で採用されている入院診療報酬算定制度（DPC制度）に基づくデータ
- ・国の調査結果（※）をもとに、全国の疾患区分別の年間入院患者発生率の実績を、豊能医療圏の人口推計データに掛け合わせて、**入院患者数**を推計します。

※厚生労働省中央社会保険医療協議会DPC評価分科会発表「平成30年度DPC導入の影響評価に係る調査『退院患者調査』」

2. 患者調査データ

- ・3年に1回行われる厚生労働省「患者調査」に基づくデータ
- ・調査結果をもとに、全国の疾患区分別の1日あたり外来患者発生率の実績を、豊能医療圏の人口推計データに掛け合わせて、**外来患者数**を推計します。

疾患区分について

- ・上記2つのデータでは、それぞれ異なる「疾患区分」で患者データが集計されているため、類似した名称でも含まれる疾患に違いがあります。それぞれの疾患区分の概要は次頁のとおりです。
- ・具体的には、以下のような差異があるため、留意が必要です。

例1) がんは、DPCデータでは各疾病区分（呼吸器系、循環器系、消化器系など）に含まれるが、患者調査データでは「新生物」に含まれる

例2) DPCデータで「神経系」に含まれる脳血管疾患や、「呼吸器系」に含まれる肺循環器疾患が、患者調査データでは「循環器系」に含まれる

疾患区分の概要（参考）

入院患者数推計の基礎となるDPCデータと、外来患者数推計の基礎となる患者調査データでは、以下のとおり異なる考え方で疾患を区分しています。

◆DPCデータにおける疾患区分

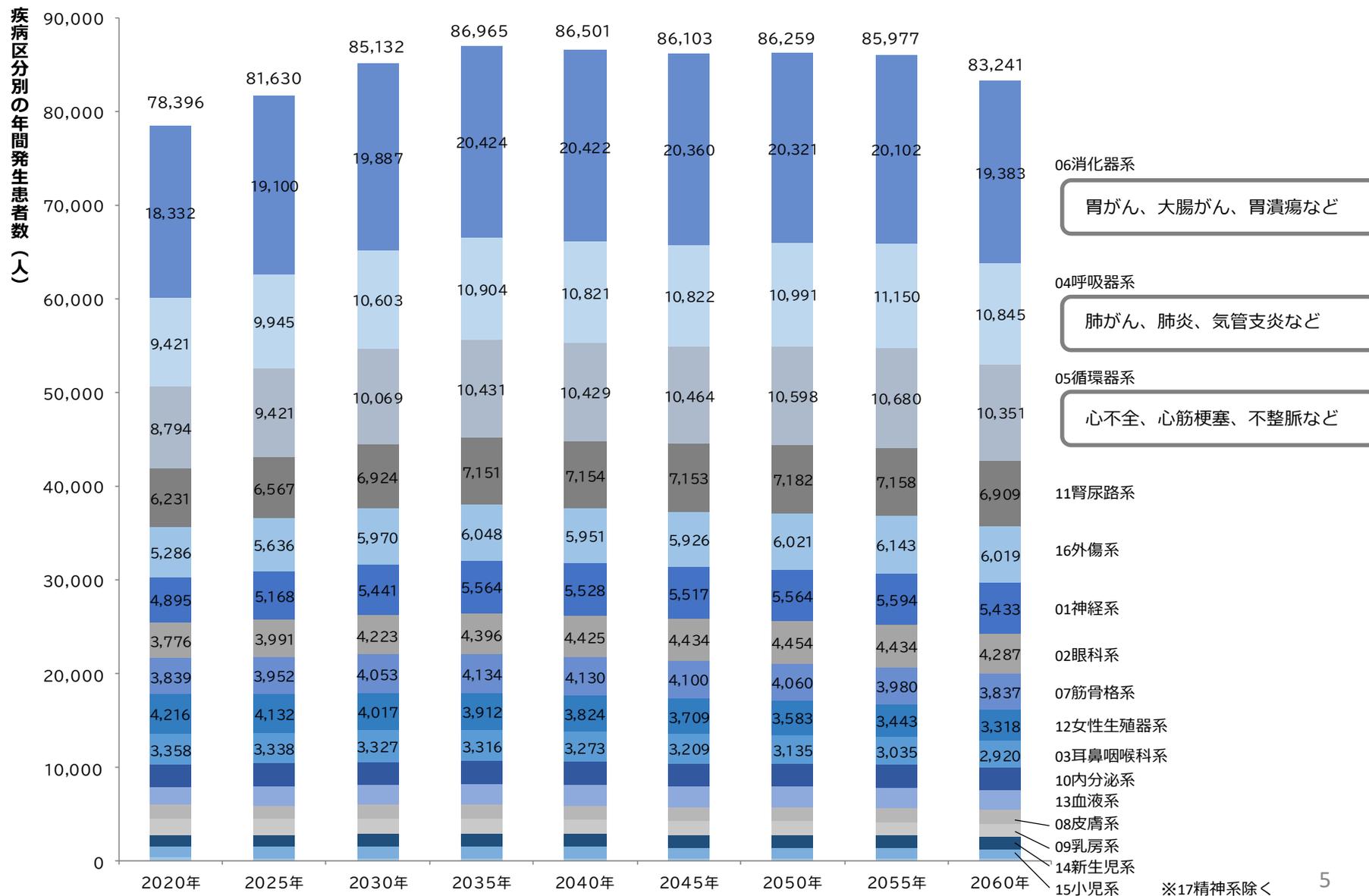
疾患区分	含まれる疾患例
01神経系	脳梗塞、くも膜下出血、認知症など脳神経系の疾患
02眼科系	眼に関する疾患
03耳鼻咽喉科系	耳・鼻・咽喉に関する疾患
04呼吸器系	肺炎・肺がんなどの呼吸器疾患
05循環器系	心不全、心筋梗塞、不整脈など循環器系の疾患
06消化器系	胃や腸などのがんや、その他消化器系の疾患
07筋骨格系	脊椎や骨・関節に関する疾患
08皮膚系	皮膚に関する疾患
09乳房系	乳がんなど乳房に関する疾患
10内分泌系	糖尿病や甲状腺がんなど
11腎尿路系	腎臓や尿路に関する疾患
12女性生殖器系	子宮がんなど女性生殖器に関する疾患
13血液系	白血病など血液に関する疾患
14新生児系	先天性奇形など新生児に関する疾患
15小児系	熱性けいれんなど小児に多い傾向の疾患
16外傷系	骨折など外傷による疾患
17精神系	統合失調症など精神系の疾患
18その他	各分類に含まれないその他の疾患

◆患者調査データにおける疾患区分（ICD区分）

疾患区分	含まれる疾患例
01感染症及び寄生虫症	感染症（ウイルス・細菌等）
02新生物	各部位のがん
03血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	貧血や造血器・免疫不全など
04内分泌、栄養及び代謝疾患	糖尿病・甲状腺障害など
05精神及び行動の障害	統合失調症など精神系の疾患
06神経系の疾患	パーキンソン病やてんかん、脳性麻痺などの中枢神経系の疾患（脳梗塞などは09循環器に含む）
07眼及び付属器の疾患	眼に関する疾患
08耳及び乳様突起の疾患	耳に関する疾患
09循環器系の疾患	心不全・心筋梗塞など心臓に関する疾患、脳梗塞など脳血管に関する疾患、動脈瘤など血管に関する疾患
10呼吸器系の疾患	かぜ、肺炎、インフルエンザ、気管支炎など呼吸器に関する疾患（がんは02新生物に含む）
11消化器系の疾患	胃潰瘍、虫垂炎、肝炎など消化器に関する疾患（がんは02新生物に含む）
12皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚に関する疾患
13筋骨格系及び結合組織の疾患	関節炎や椎間板ヘルニアなど、脊椎や骨・関節に関する疾患（骨折など外傷関連は19に含む）
14腎尿路生殖器系の疾患	腎炎や尿路結石など、腎臓や尿路に関する疾患（がんは02新生物に含む）
15妊娠、分娩及び産褥	妊娠中に関連する疾患
16周産期に発生した病態	出産・新生児に関連する疾患
17先天奇形、変形及び染色体異常	先天奇形等
18症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	他に分類されない症状等（心拍・呼吸の異常等）
19損傷、中毒及びその他の外因の影響	骨折、脱臼など、各部位の外傷による損傷等
20傷病及び死亡の外因	傷病・死亡の要因となる事項
21健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	検査・経過観察や教育入院等

豊能医療圏の患者推計（入院患者数）

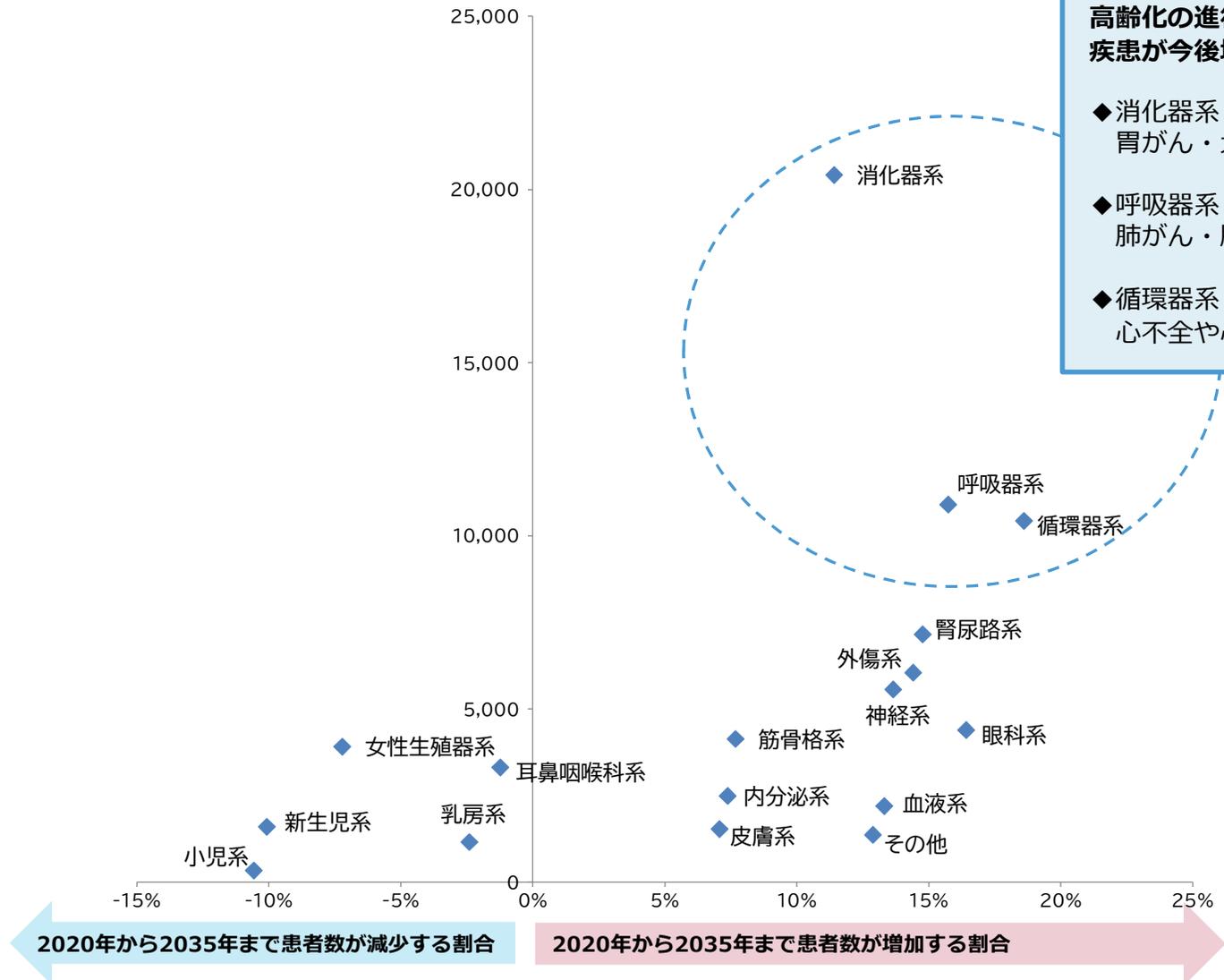
DPCデータを使用し入院患者の将来推計を行いました。全疾患合計では2035年がピークになることが予測されます。豊能医療圏内で最も多く患者数が発生するのが消化器系疾患であり、次いで、呼吸器系、循環器系と予測されます。



豊能医療圏の患者推計（入院患者数と増減率の関係）

患者総数がピークになる2035年における、疾患別患者数と、2020年からの増減率の関係を整理しました。患者が多くかつ今後の増加率が多い疾患として、消化器系・呼吸器系・循環器系などが挙げられます。

患者総数ピーク時（2035年）の
年間発生患者数（人）

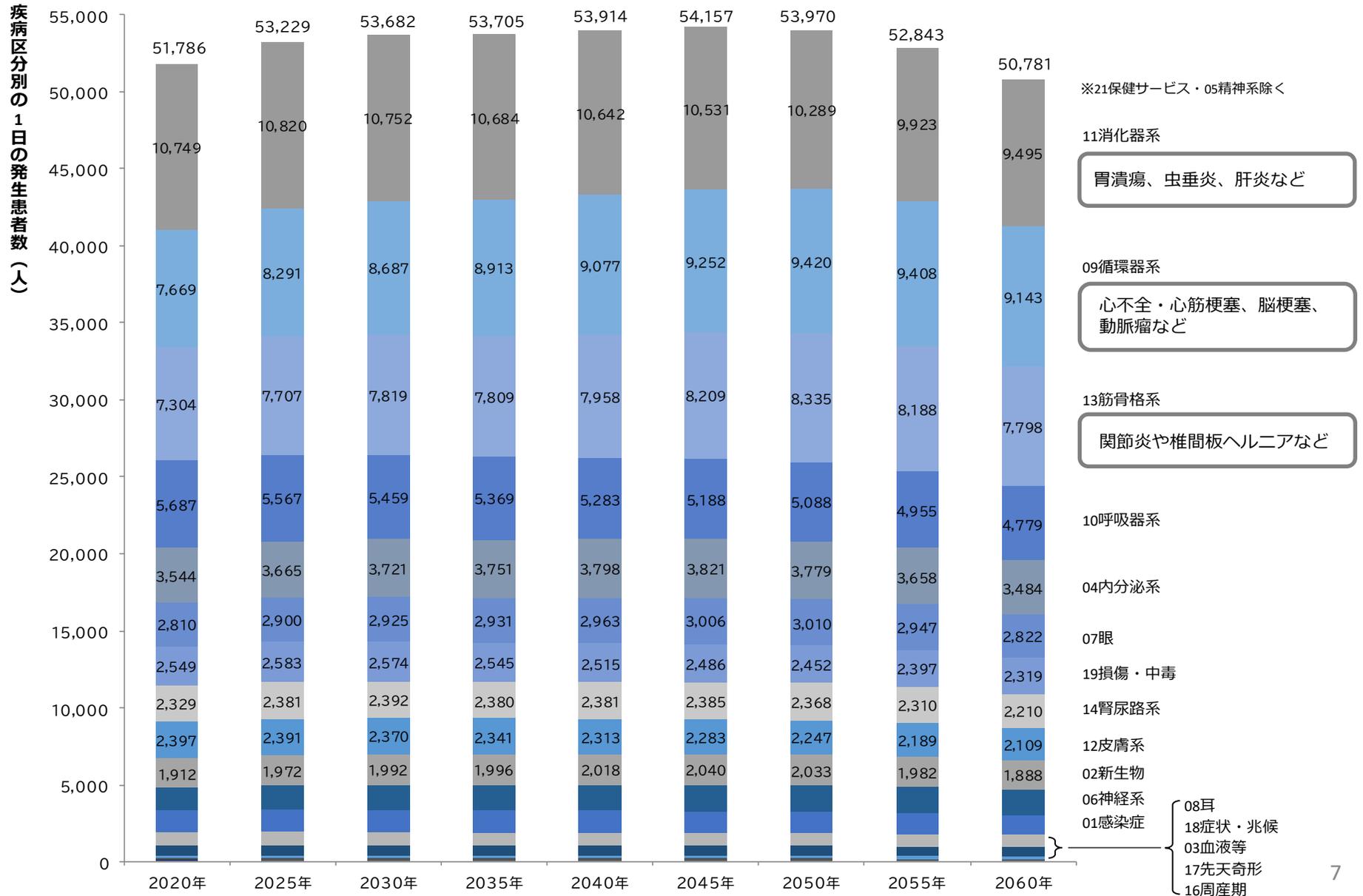


高齢化の進行を背景に、以下のような疾患が今後増加することが予測されます。

- ◆消化器系
胃がん・大腸がんや胃潰瘍など
- ◆呼吸器系
肺がん・肺炎・気管支炎など
- ◆循環器系
心不全や心筋梗塞、不整脈など

豊能医療圏の患者推計（外来患者数）

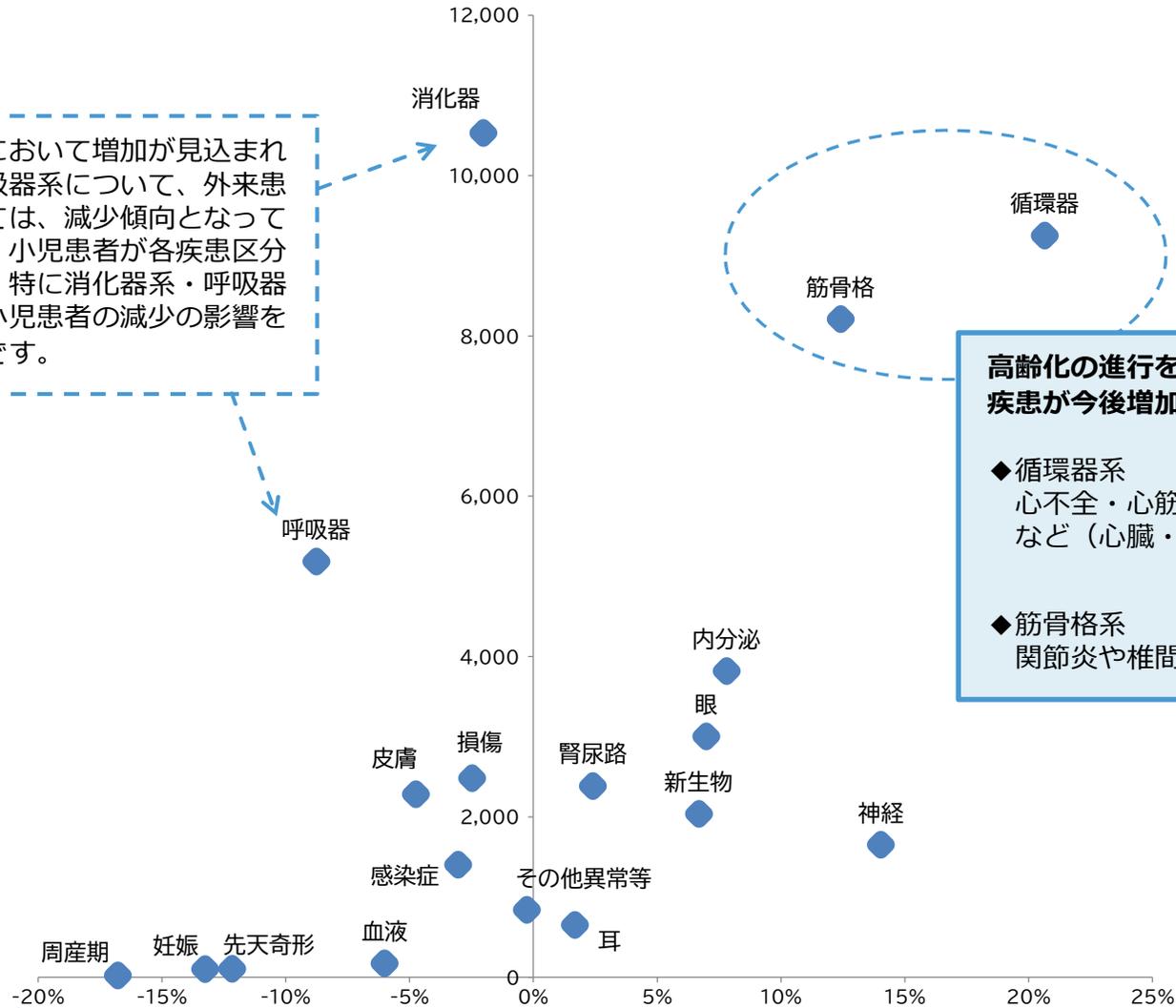
患者調査データを使用し外来患者の将来推計を行いました。全疾患合計では2045年がピークになることが予想されます。豊能医療圏内で最も多く患者数が発生するのが消化器系と予想されます。



豊能医療圏の患者推計（外来患者数と増減率の関係）

患者総数がピークになる2045年における、疾患別患者数と、2020年からの増減率の関係を整理しました。患者が多くかつ今後の増加率が多い疾患として、循環器系（心臓や脳の疾患を含む）と筋骨格系が挙げられます。

患者総数ピーク時（2045年）の
1日の発生患者数（人）



入院患者の推計において増加が見込まれる消化器系・呼吸器系について、外来患者の推計においては、減少傾向となっています。これは、小児患者が各疾患区分に一定数含まれ、特に消化器系・呼吸器系については、小児患者の減少の影響を受けやすいためです。

高齢化の進行を背景に、以下のような疾患が今後増加することが予測されます。

- ◆循環器系
心不全・心筋梗塞、脳梗塞、動脈瘤など（心臓・脳を含む血管系の疾患）
- ◆筋骨格系
関節炎や椎間板ヘルニアなど

2020年から2045年まで患者数が減少する割合

2020年から2045年まで患者数が増加する割合

豊能医療圏での入院患者のシェア状況

豊能医療圏内の医療機関のうち、急性期病床（DPC算定病床）をもつ病院を抽出し、豊能医療圏の入院患者をどの程度獲得しているか（つまり、地域でのシェアがどれくらいか）、疾患別に集計しました。当院の病床が豊能医療圏全体の病床に占める割合（5.0%）を目安にシェアを見ると、神経系・循環器系・筋骨格系・乳房系・新生児系・外傷系は、その目安を下回っています。一方、眼科系・皮膚系・小児系では比較的高いことがわかります。

【当院シェア凡例】

■ : 10%以上 ■ : 5%以上10%未満 ■ : 5%未満

(特記がない場合、単位：人)

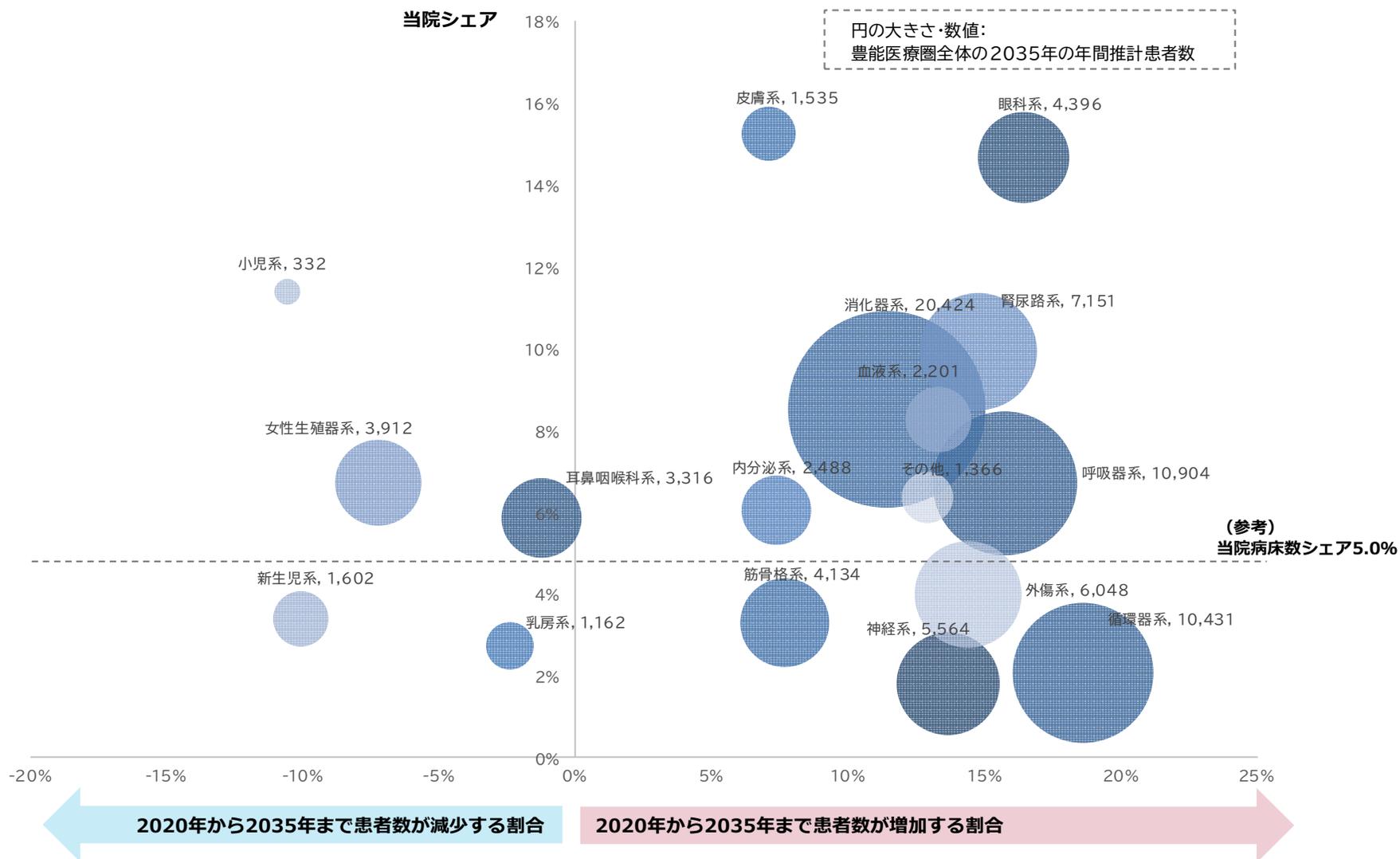
	年間発生患者数	箕面市			吹田市								豊中市							池田市					
		箕面市立病院	当院シェア	相原病院	附大阪大学医学部	国立循環器病研	済生会吹田病院	市立吹田市民病	吹田徳洲会病院	済生会千里病院	大和病院	井上病院	協和会病院	市立豊中病院	セ大 大阪 根山 医療	病関 西 メ デ イ カ ル	病大 阪 脳 神 経 外 科	上田病院	千里山病院	豊中若葉会病院	豊中緑ヶ丘病院	小西病院	市立池田病院	巽病院	池田回生病院
DPC算定病床数(床)	5,356	267	5.0%	31	1,024	510	500	386	243	343	81	94	59	608	184	180	90	81	59	50	30	37	364	75	60
01 神経系	8,089	145	1.8%	-	1,412	2,514	415	292	354	293	35	21	-	1,164	17	100	926	23	126	-	-	-	217	35	-
02 眼科系	7,220	1,057	14.6%	-	2,390	-	320	440	736	-	28	57	-	217	-	812	-	-	-	-	-	-	1,163	-	-
03 耳鼻咽喉科系	4,351	254	5.8%	-	841	107	413	762	130	103	16	35	-	666	168	288	20	-	-	-	-	-	467	81	-
04 呼吸器系	14,553	973	6.7%	-	1,140	887	1,571	1,505	399	884	142	127	46	1,740	2,392	645	-	125	268	56	38	-	1,422	132	61
05 循環器系	13,113	272	2.1%	-	1,887	5,794	639	473	542	998	76	198	12	1,071	-	268	17	35	17	-	-	-	593	207	14
06 消化器系	21,498	1,830	8.5%	-	2,900	58	2,443	2,326	809	2,236	141	112	93	3,668	13	757	-	224	103	34	692	-	2,680	306	73
07 筋骨格系	4,744	156	3.3%	212	1,110	77	278	700	129	281	14	81	133	458	170	207	110	93	29	19	25	23	347	65	27
08 皮膚系	1,700	259	15.2%	-	301	11	238	142	22	52	13	11	-	267	-	63	-	20	-	-	-	-	248	16	37
09 乳房系	1,875	51	2.7%	334	615	-	63	112	26	184	-	-	-	122	-	160	-	-	-	-	-	-	208	-	-
10 内分泌系	3,951	239	6.0%	-	991	385	313	295	161	173	31	27	-	546	-	142	18	62	52	19	15	-	412	18	52
11 腎尿路系	8,832	876	9.9%	-	1,185	113	1,081	750	410	606	40	577	-	1,367	15	447	-	54	45	92	21	-	1,042	87	24
12 女性生殖系	5,712	383	6.7%	-	1,620	231	592	334	352	693	-	-	-	987	-	-	-	-	-	-	-	-	520	-	-
13 血液系	2,612	216	8.3%	-	544	25	85	398	52	48	10	-	-	621	-	35	-	10	-	-	-	-	557	11	-
14 新生児系	2,888	98	3.4%	-	884	1,001	356	81	38	125	-	-	-	188	-	-	-	-	-	-	-	-	117	-	-
15 小児系	395	45	11.4%	-	-	14	54	81	-	16	-	-	-	167	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-
16 外傷系	6,955	276	4.0%	37	322	98	550	489	543	972	88	82	76	647	77	930	220	195	76	73	68	273	341	451	71
17 精神系	76	-	-	-	54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18 その他	1,605	102	6.4%	-	424	92	116	185	62	113	-	38	-	188	18	83	15	-	-	-	-	-	169	-	-
全疾患全体	110,169	7,232	6.6%	583	18,620	11,407	9,527	9,365	4,765	7,777	634	1,366	360	14,084	2,870	4,959	1,326	841	716	293	859	296	10,521	1,409	359

※令和元年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」より集計。

ただし、疾患（小分類）ごとにデータにおいて、件数が10未満の場合は上記集計には反映されないため、統計上の退院患者数と一致しないことがある。

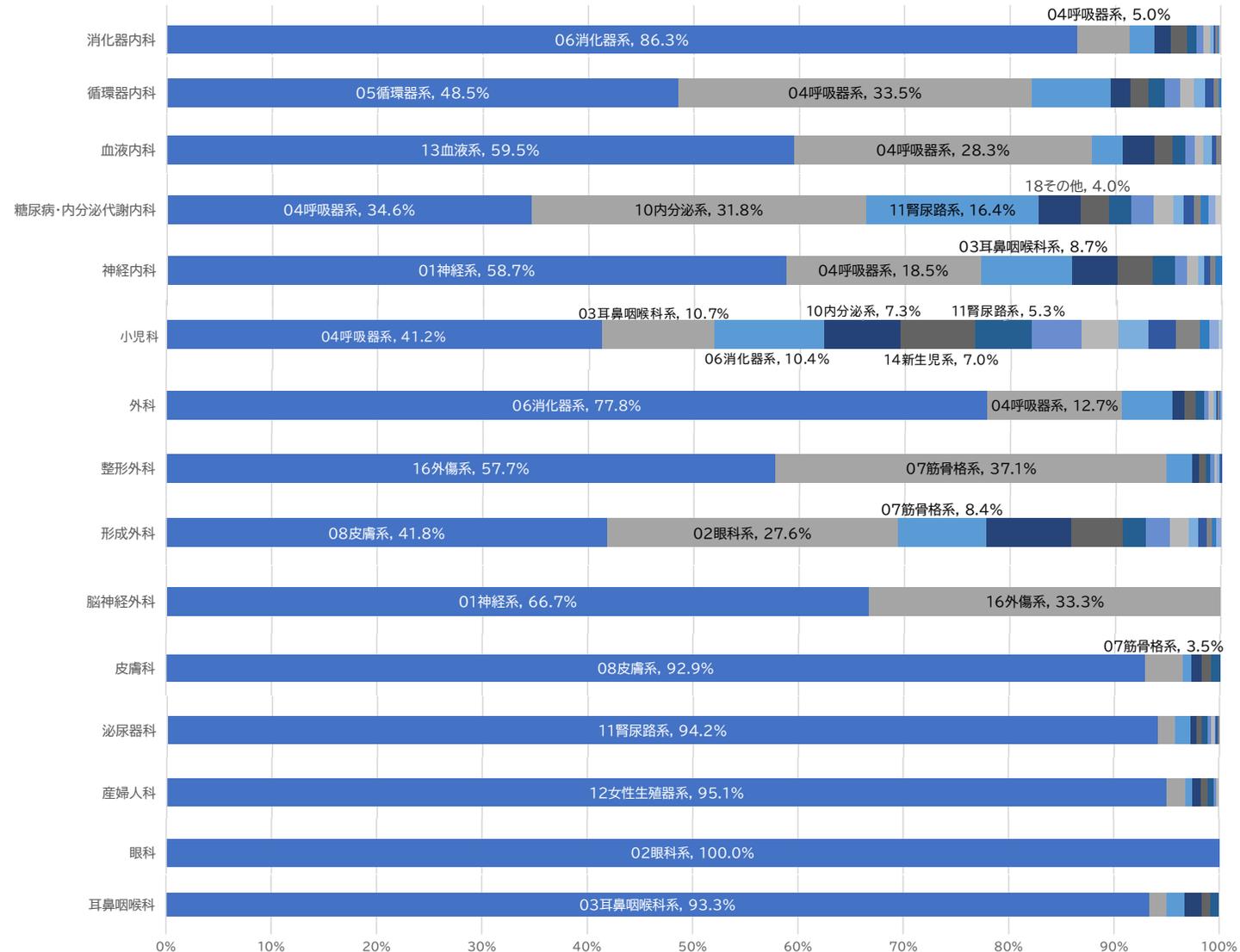
入院患者数の増加率と当院地域シェアの関係

疾病区分ごとの入院患者増減率と当院地域シェアの関係を整理しました。循環器系・神経系・外傷系・筋骨格系は、現状ではシェアが低いものの、地域での患者数増加が見込まれる疾患であり、今後の患者数増のターゲットとなると考えられます。一方、小児系・女性生殖器系・新生児系は今後患者数の減少が見込まれますが、政策的医療（周産期・小児医療）の観点から、今後のあり方について検討が必要です。



DPC疾患区分と当院診療科の関係

当院が今後担うべき医療機能の検討にあたり、診療科ごとの分析を行うため、DPCデータに基づく患者推計等を診療科ごとに集計しなおします。DPCの疾患区分と、当院の診療実績の対応関係は以下のとおりです。なお、当院では「呼吸器内科」を標榜していないため、循環器内科、血液内科、糖尿病・内分泌代謝内科等の内科系診療科に一定数の呼吸器系疾患患者が含まれるのが特徴です。



※当院DPCデータ（2019年4月～2020年2月）を集計。内科・精神科・リハビリテーション科は、急性期病棟における入院患者数がないもしくは極めて少ないため上記からは除外